



【5年生】米作りの学習がスタートしました



4月8日(火)1限めに、地域学習指導員の南川さんにお世話になり、もち米の種もみをまきました。初めに南川さんからの説明を受けた後、種をじっくりと観察。よく見ると種から白い芽が出ているものもありました。子どもたちは、教えていただいた水の量(土の表面まで)にも気をつけながら、一人ひとりがポリ容器に丁寧にもち米の種もみをまきました。1か月ほど育て、5月には、発

芽・生長した自分の苗を使って田植えをします。9月の稲刈りや脱穀作業、もみすり、そして3学期の餅つきにつながります。生産者の方から、育て方だけでなく、年間を通じて育てるための工夫や苦労など、多くのことを学んでいきます。



【3年生】学校茶園で「クレモナかぶせ」をしました



4月16日(水)の5限めに、JA三重北職員の皆様にご指導いただき、3年生が学校茶園のお茶の木にクレモナ(黒いシート)をかぶせました。17列あるお茶の列を2人ペアでかぶせていきました。子どもたちは手際よく作業を進め、クレモナが風で飛ばないように、2mぐらいの青い金属の棒を、間隔をおいて地面にさしました。

お茶を収穫する前にクレモナをかけ遮光することで「味」や「色」がよくなって、「まろやかな旨みを持った味」になるそうです。このようにして摘んだお茶を「かぶせ茶」と言い、これから10~2週間の被覆期間を経て、5月1日(木)あたりに、6年生が手摘みを体験する予定です。

水沢小学校 スタッフ紹介です(4月7日付学校だよりからの追加です)

<スクール・カウンセラー(SC)とは?>

学校に配置され、児童や教職員、保護者の心のケアを行います。スクール・カウンセラーは、集団生活の場である教育施設で関わる人の精神的負担を少しでも軽くするために生まれました。子育てのこと、なかま関係のこと、勉強のこと、将来のことなど、些細なことでも話を聞いてもらうことで気持ちが軽くなったり、違った視点で物事を見ることができたりと、悩みや心配が解消に向かうことにもつながります。相談については、保護者の方のみ、お子様のみ、保護者の方とお子様と一緒に、など、ご希望に応じて対応することができます。予定につきましては、各学年の学年だよりの行事予定にてお知らせいたします。

<スクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)とは?>

児童・生徒が生活の中で抱えているさまざまな問題の解決を図る専門職です。スクール・ソーシャル・ワーカーは、学校、家庭、地域で暮らしやすい生活の支援や福祉制度の活用などを通し、児童・生徒の支援を行っています。本校は県SSW拠点型配置校となっており、西陵中学校を拠点として本校に配置されています。

子育て等、子どもにかかわることでお悩みやご相談したいことがある保護者の方は、学校への連絡をお願いします。スクール・カウンセラー(SC)やスクール・ソーシャル・ワーカー(SSW)を積極的にご活用ください。

(文責 岡本 浩樹)